brother

かんたん設置ガイド 基本編

JUSTIO 複合機

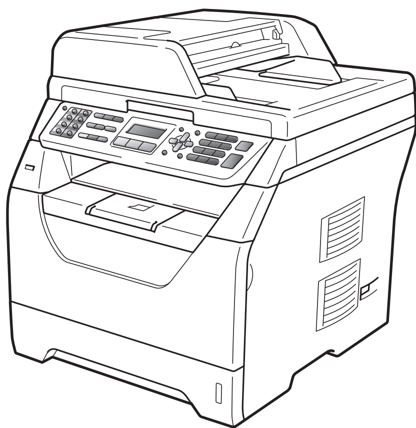
MFC-8380DN

はじめにお読みください

本製品を使用するには、本製品を設置し、お使いのコンピュータにドライバとソフトウェアをインストールする必要があります。正しいセットアップを行うために、この「かんたん設置ガイド基本編」を必ずお読みください。



付属のCD-ROMから「画面で見るマニュアル(HTML形式)」を参照できます。本製品の使い方やネットワーク、ソフトウェアの設定など知りたい情報をすばやく探せます。



困ったときは

本製品の動作がおかしいとき、故障かな?と思ったときなどは、以下の手順で原因をお調べください。

1 ユーザーズガイド基本編 7章「こんなときは」で調べる

2 サポート ブラザー 検索



ブラザーのサポートサイトにアクセスして、最新の情報を調べる
http://solutions.brother.co.jp/

携帯電話からでも簡単なサポート情報を見ることができます。
http://m.brother.co.jp/support/

ブラザーマイポータル　オンラインユーザー登録をお勧めします。
https://myportal.brother.co.jp/
ご登録いただくと、製品をより快適にご使用いただくための情報をいち早くお届けします。

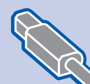
本書は、なくさないように注意し、いつでも手に取ってみることができるようにしてください。

STEP1 接続・設置する

STEP2 パソコンに接続する

Windows®

Macintosh



USB接続

※ LAN ケーブルを使ってネットワーク環境に接続する場合は、「かんたん設置ガイド ネットワーク編」をご覧ください。

付　録

Version A JPN

ユーザーズガイドの構成

本製品には次のユーザーズガイドが用意されています。『かんたん設置ガイド』（本書／ネットワーク編）をご覧いただき設置および接続が終了したら、『ユーザーズガイド』で安全にお使いいただくための注意や基本的な使用方法をよくお読みください。その後目的に応じて各ユーザーズガイドをご活用ください。

冊子

はじめにお読みください

■かんたん設置ガイド（本書／ネットワーク編）
- 設置する
- パソコンへの接続
- ドライバ、ソフトウェアのインストール

ファクス/コピーの使い方を知りたい

■ユーザーズガイド基本編
- ファクスを送る
- コピーする
- トラブル対処/お手入れ方法
- 消耗品や部品の交換

※本書の内容は、付属のCD-ROMに収録されている「画面で見るマニュアル」（HTML形式）からも閲覧できます。

使いたい機能をすばやく探せます

HTML（CD-ROM）

「画面で見るマニュアル」（HTML形式）

以下のユーザーズガイドの内容が含まれています

■基本編
- ファクス/プリンタ/コピーの使用方法
- トラブル対処方法/お手入れ方法
- 消耗品や部品の交換

■応用編
- プリンタとして使う
- スキャナとして使う
- パソコンからファクスを送受信する
- Control Centerで便利に使う

■ネットワーク設定編
- ネットワークにつないで使う
- ネットワークスキャナ、ネットワークプリンタとして使うための設定

CD-ROMに収録されている「画面で見るマニュアル」を見たいときは、以下の手順で操作します。

Windows®の場合
パソコンにドライバをインストールすると、デスクトップに「画面で見るマニュアル(HTML形式)」のショートカット が作成されます。
をクリックする、またはスタートメニューから画面で見るマニュアル(HTML形式)を閲覧できます。

Macintoshの場合
1.付属のCD-ROMをMacintoshのCD-ROMドライブにセットする。
2.「Documentation」をダブルクリックする。
3.「top.html」をダブルクリックする。
◆「画面で見るマニュアル」が表示されます。

最新版のマニュアルが、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）からダウンロードできます。

PDF

■ユーザーズガイド（基本編／応用編／ネットワーク設定編）

■かんたん設置ガイド（基本編／ネットワーク編）

最新のドライバや、ファームウェア（本体ソフトウェア）を入手するときは？

弊社ではソフトウェアの改善を継続的におこなっております。
最新のドライバやファームウェアを弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）よりダウンロードすることでお手元の製品の関連ソフトウェアを新しくしていただくことができます。

ドライバを新しくすることで、新しいOSに対応したり、印刷やスキャンなどの際のトラブルを解決できることがあります。また、本体のトラブルのあるときは、ファームウェア（本体ソフトウェア）を新しくすることで解決できることがあります。



ダウンロード・操作手順について詳しくは、http://solutions.brother.co.jp/　へ

目　次

■ この機器は、クラスB情報技術装置です。この機器は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この機器がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

■ 本製品は、厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一不具合がありましたら、「お客様相談窓口」までご連絡ください。
■ お客様または第三者が、本製品の使用の誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合、または本製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
■ 本製品の設置に伴う回線工事には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は違法となり、また事故のもととなりますので、絶対におやめください。
■ 本製品の設置上の警告・注意事項は、ユーザーズガイド基本編の「安全にお使いいただくために」をよくお読みいただき、正しく設置してください。
■ 電話帳に登録した内容、メモリーに受信したファクスなどで重要な情報は、必ず印刷して保管してください（ユーザーズガイド基本編「電話帳リストを印刷する」、「メモリーに受信したファクスを印刷する」）。本製品は、静電気・電気的ノイズなどの影響を受けたとき、誤って使用したとき、または故障・修理・使用中に電源が切れたときに、メモリーに記憶した内容が変化・消失することがあります。これらの要因により本製品のメモリーに記憶した内容が変化・消失したために発生した損害について、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
■ ユーザーズガイドなど、付属品を紛失した場合は、お買い上げの販売店にてご購入いただくか、ダイレクトクラブ（0120-118-825）へご注文ください。（土、日、祝日、長期休暇を除く　9:00～12:00　13:00～17:00）

本書の表記

警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害の可能性がある内容を示しています。
注意	本製品をお使いになるにあたって、守っていただきたいことがらを説明しています。
補足	本製品の操作手順に関する補足情報を説明しています。
	ユーザーズガイド基本編の参照先を記載しています。
	画面で見るマニュアル（HTML形式）を参照しています。



接続・設置する

1 付属品を確認する

箱の中に次の物が揃っているか確かめてください。万一、足りないものがあったりユーザーズガイドに落丁があったときは、お客様相談窓口にご連絡ください。

原稿排紙トレイ
ADF（自動原稿送り装置）
操作パネル
USBメモリー差込口
排紙ストッパー
記録紙トレイ
原稿ガイド
原稿台カバー
フロントカバー
電源スイッチ
多目的トレイ

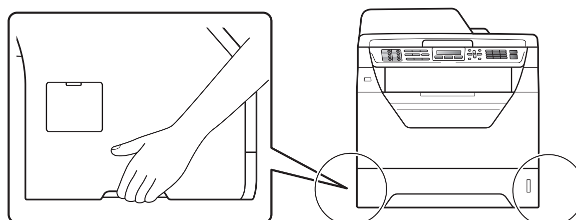
CD-ROM（Windows®用／Macintosh用）	かんたん設置ガイド（本書／ネットワーク編）	ドラムユニット トナーカートリッジ ドラムユニット トナーカートリッジ	
ユーザーズガイド基本編	電源コード	電話機コード	保証書

警告

製品を梱包しているビニール袋は幼児の手の届くところには置かないでください。
あやまってかぶると窒息の恐れがあります。

注意

本製品を持ち運ぶときは、図のように
本製品の両脇を持ってください。
本製品の底面を持たないでください。

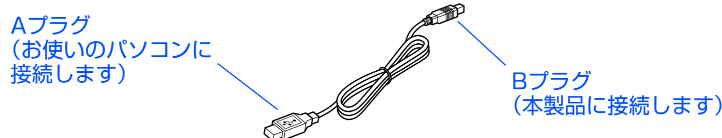


注意

■箱や梱包材は廃棄せず、必ず大切に保管してください。

■本製品とパソコンをつなぐケーブルは同梱されていません。利用するケーブルをお買い求めください。

- USBケーブル
  USBケーブルは長さが2.0m以下のものをお使いください。
  バスパワーのUSBハブやMacintoshのキーボードなどのUSBポートに接続しないでください。
  パソコン本体のUSBポートに接続してください。



- LANケーブル
  カテゴリ5以上の10BASE-Tまたは100BASE-TXのストレートケーブルをお使いください。

2 操作パネル

操作パネルでは、機能の設定や指示を行ったり、本製品の状況を確認することができます。
詳しくは、ユーザーズガイド基本編の第1章「各部の名称とはたらき」を参照してください。

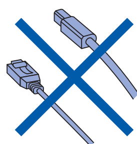


3 ドラムユニットとトナーカートリッジを取り付ける

箱から本製品を取り出したあと、付属のドラムユニットを取り付けます。

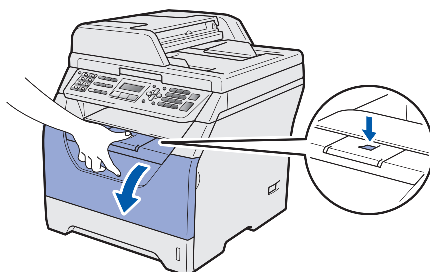
注意

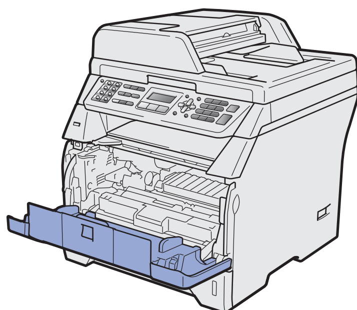
この時点では、まだUSBケーブルまたはLANケーブルを接続しないでください。



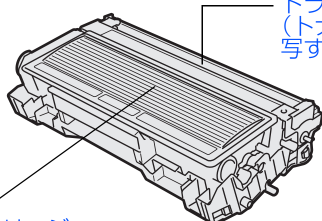
1 本製品に貼られている青色のテープをはがす

2 フロントカバーリリースボタンを押して、フロントカバーを開く

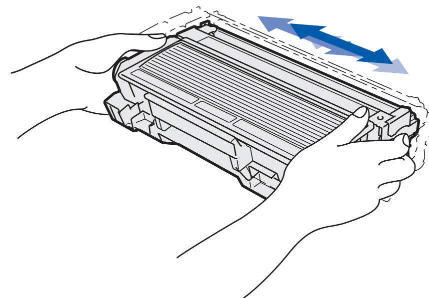




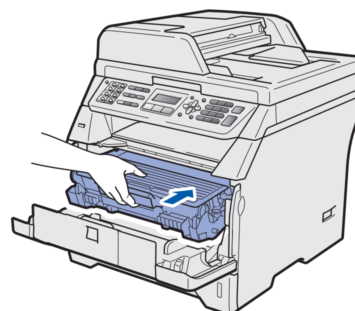
3 ドラムユニットとトナーカートリッジを袋から取り出す



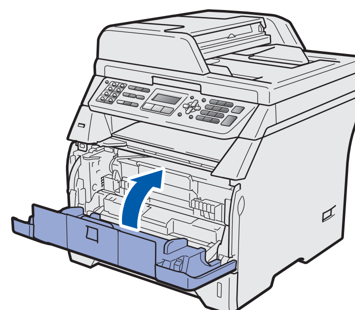
4 トナーが均等になるように、左右に5～6回ゆっくりと振る



5 ドラムユニットとトナーカートリッジを取り付ける



6 フロントカバーを閉じる

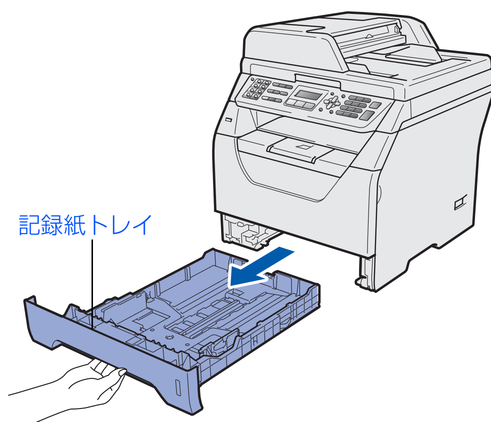


補足

本製品は、トナーカートリッジとドラムユニットを別々に交換していただく分離型になっています。交換の際は、液晶ディスプレイに表示されるメッセージに従い、該当の消耗品を交換してください。

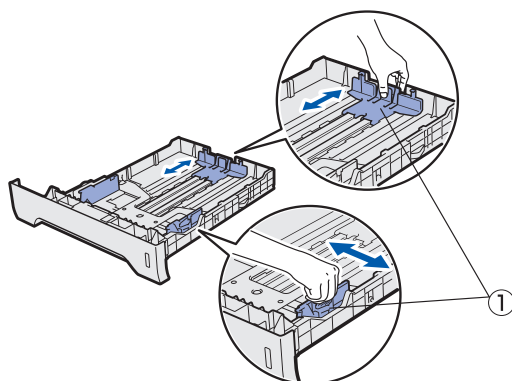
4 記録紙をセットする

1 記録紙トレイを本製品から完全に引き出す

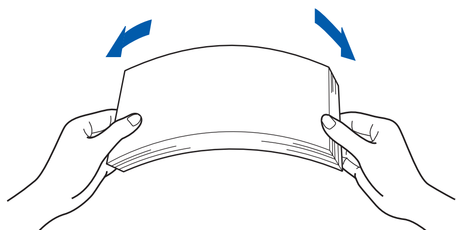


2 記録紙ガイドを使用する記録紙のサイズに合わせる

- レバー①をつまみながら使用する記録紙のサイズに合わせます。
- 記録紙ガイドのつめがしっかりと溝にはまっていることを確認してください。

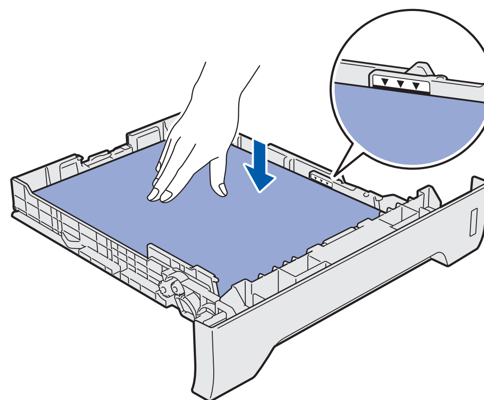


3 紙づまりや給紙ミスを防ぐため、記録紙をよくさばく



4 印刷面を下にして記録紙トレイに入れる

記録紙がトレイの中で平らになっていること、▼マークより下の位置にあることを確認してください。



注意

■記録紙は数回に分けて入れてください。一度にたくさん入れると紙づまりや給紙ミスの原因になります。

■種類の異なる記録紙を一緒にセットしないでください。

■記録紙ガイドが記録紙のサイズに正しくセットされていることを確認してください。正しくセットされていないと印刷時にトレイ内で記録紙がずれ、故障の原因になります。

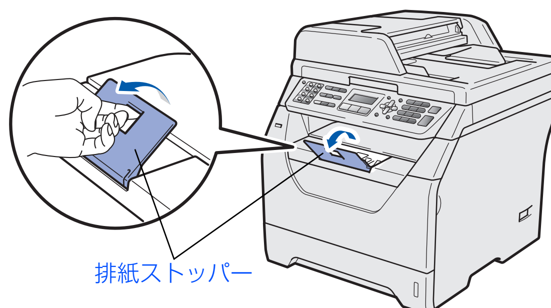
補足

●はがきは約30枚までセットできます。

●A4(80g/m^2の普通紙)で約250枚までセットできます。

5 記録紙トレイを本製品に戻す

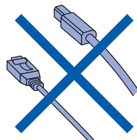
6 排紙ストッパーを開く



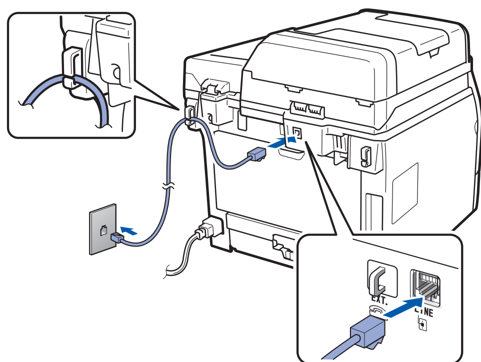
5 電話機コードを接続する

注意

この時点では、まだUSBケーブルまたはLANケーブルを接続しないでください。



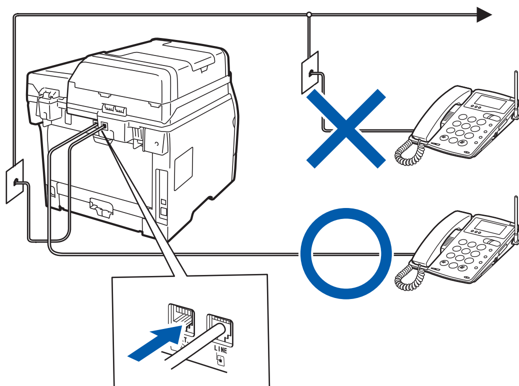
1 **電話機コードの一方を背面の「LINE」端子に差し込み、もう一方を壁側の電話機コンセントに差し込む**



注意

電話機コードは「EXT」端子ではなく、必ず「LINE」端子に接続してください。

- お使いの電話機を本製品と接続してご使用になる場合は、本製品背面の外付電話端子（EXT.）に付いているキャップをはずして接続します。



- 本製品に接続した電話機を外付電話機と呼んでいます。

注意

■本製品では、２つ以上の電話番号を同時にご利用できません。

■本製品自体は、ダイヤルインサービスに対応していません。ただし構内交換機（PBX）などの中継装置にその機能があり、正しく接続設定されている場合は、サービスが利用できることがあります。

P.12 を参照してください。

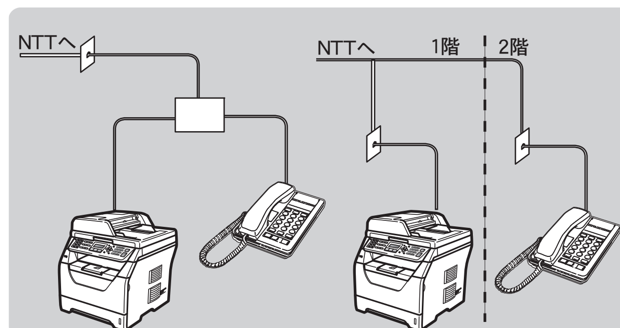
■外付電話端子に接続できる電話機は、１台だけです。

■ファクス付き電話は接続できません。

■ナンバー・ディスプレイ対応の電話機を外付け電話機として接続する場合は、本製品のナンバー・ディスプレイの設定を「外付け電話優先」にしてください。詳しくは、ユーザーズガイド基本編の第1章「ナンバー・ディスプレイサービスを利用する」をご覧ください。

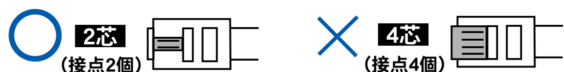
■ブランチ接続（並列接続）はしないでください。ブランチ接続（並列接続）をすると、以下のような支障があり、正常に動作できなくなります。

- ファクスを送ったり受けたりしているときに、ブランチ接続（並列接続）されている電話機の受話器を上げるとファクスの画像が乱れたり通信エラーがおきることがあります。
- 電話がかかってきたとき、ベルが鳴り遅れたり、途中で鳴りやんだり、相手がファクスのときに受信できないときがあります。
- 並列電話機から本製品への転送はできません。
- ナンバー・ディスプレイ、キャッチホンなどのサービスが正常に動作しません。

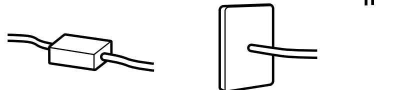


補足

- 付属品の電話機コードをご使用にならない場合も、6極2芯の電話機コードをお使いください。6極4芯の電話機コードをご使用になると、通話中に雑音が入ることがあります。



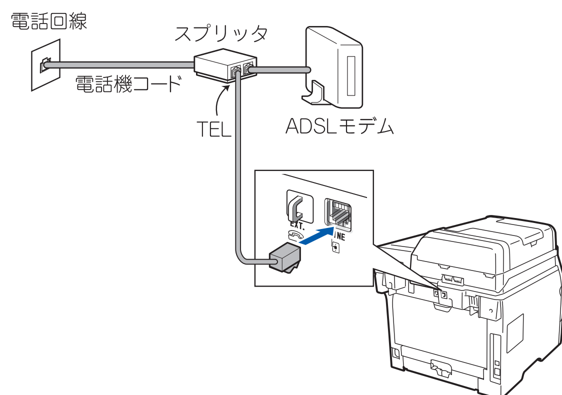
- 3ピンプラグ式の場合は、市販のモジュラー付き電話キャップを購入してください。
- 直接配線式の場合は、別途工事が必要です。ご利用の電話会社にお問い合わせください。



いろいろな接続

ADSLをご利用の場合

本製品を ADSL 環境で使用する場合は、本製品をADSLスプリッタのTEL端子またはPHONE端子に接続してください。
スプリッタに接続した状態で、ファクスが送受信できることを確認してください。



補足

- お使いの機器によっては、ADSL モデムにスプリッタ機能が内蔵されている場合があります。
- 詳しい設定については、スプリッタや ADSL モデムの取扱説明書をご覧ください。
- ADSL 環境で自分の声が響く、または相手の声が聞きづらいときは、ADSLのスプリッタを交換すると改善する場合があります。

注意

ADSLモデムにスプリッタ機能が内蔵されていない場合、本製品とADSLモデムは必ず「スプリッタ」で分岐してください。「スプリッタ」より前（電話回線側）で分岐すると、ブランチ接続（並列接続）となり、通話中に雑音が入ったり、音量が小さくなるなどの支障が発生します。

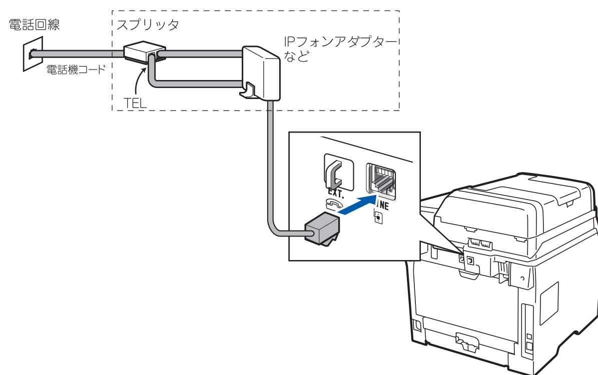
●IPフォンなどのIP網をご利用の場合

(1) IPフォンをご利用の場合

回線種別を自動設定できないことがあります。
その場合は、手動で回線種別を設定してください。

(2) IP網を使用してファクス通信を行う場合

契約しているプロバイダの通信品質が保証されていることを確認してください。



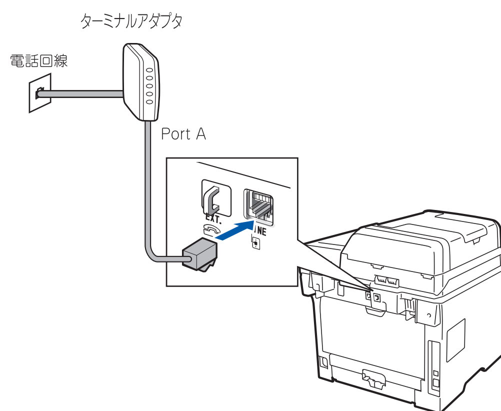
ISDNをご利用の場合

本製品をISDN回線のターミナルアダプタに接続するときは、次の設定と確認を行ってください。

- 本製品：
  回線種別を【プッシュ回線】に設定する
- ターミナルアダプタ ：
  本製品を接続して電話がかけられるか、電話が受けられるか確認する

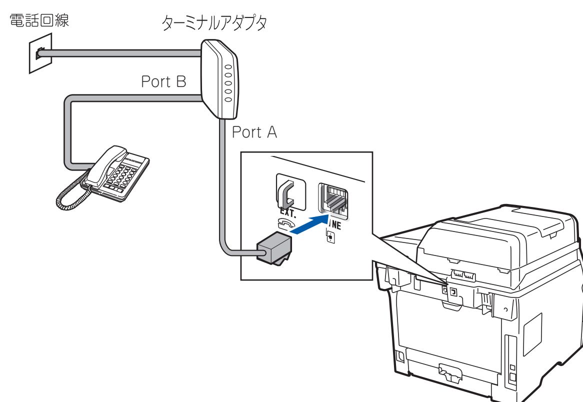
●電話番号が1つの場合

本製品をターミナルアダプタのアナログポートに接続します。電話とファクスの同時使用はできません。



●電話番号が2つの場合

本製品を、ターミナルアダプタのアナログポートに接続します。2回線分使用できるので、ファクス送信中でも通話できます。



詳しい設定については、ターミナルアダプタの取扱説明書をご覧ください。

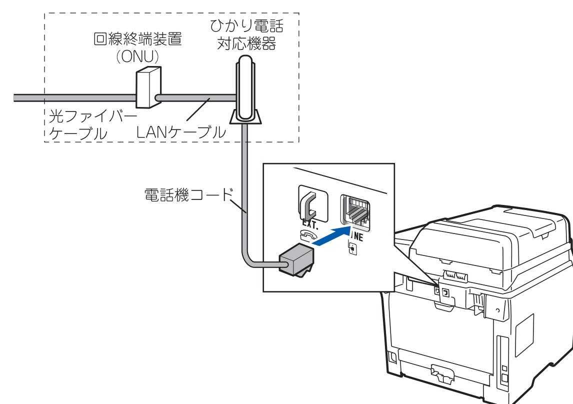
注意

■ISDN 回線でファクスの送受信がうまくいかない場合は、【特別回線対応】で【ISDN】を設定してください。詳しくは、ユーザーズガイド基本編の第 1 章「特別設定について」－「特別回線対応を設定する」をご覧ください。

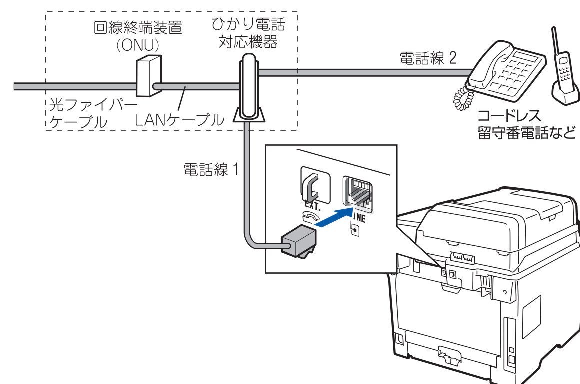
■本製品が使用できないときは、ユーザーズガイド基本編の「故障かな？と思ったら（修理依頼される前に）」をご覧ください。また、ターミナルアダプタの設定を確認してください。ターミナルアダプタの設定の詳細は、ターミナルアダプタの取扱説明書をご覧いただくか、製造メーカーにお問い合わせください。

■ナンバー・ディスプレイサービスを契約されている場合は、ターミナルアダプタ側のデータ設定と、本製品側の設定が必要です。詳しくは、ユーザーズガイド基本編の第1章「ナンバー・ディスプレイサービスを利用する」をご覧ください。

ひかり電話をご利用の場合



●ひかり電話で複数番号を使う場合



注意

■ひかり電話をご利用の場合、回線種別を自動設定できないことがあります。その場合は、手動で回線種別を【プッシュ回線】に設定してください。

■特定の番号だけつながらない、音量が小さい、ファクスを送受信できない、非通知相手からの着信ができないなどの問題がありましたら、ご利用の光回線の電話会社にお問い合わせください。

補足

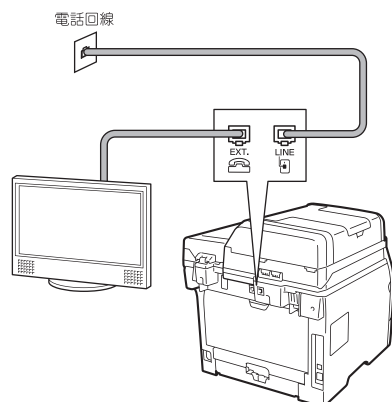
●ひかり電話についてのご質問はご利用の電話会社にお問い合わせください。

●回線終端装置（ONU）、ひかり電話対応機器などの接続方法や不具合は、ご利用の電話会社にお問い合わせください。

●お住まいの環境やご利用の電話会社により、配線方法や接続する機器が上記と異なる場合があります。

デジタルテレビを接続する場合

本製品とCSチューナーやデジタルテレビを接続するときは、本製品の外付電話端子（EXT.）に接続してください。



構内交換機（PBX）・ホームテレホン・ビジネスホンをご利用の場合

構内交換機またはビジネスホンの内線に本製品を接続する場合、構内交換機またはビジネスホン主装置の設定をアナログ2芯用に変更してください。設定変更を行わないと、本製品をお使いいただくことはできません。詳しくは、配線工事を行った販売店にご相談ください。

注意

■構内交換機、ホームテレホン、ビジネスホンに接続している場合、回線種別の自動設定ができないことがあります。その場合は、手動で回線種別を設定してください

■着信音が鳴っても本製品が自動応答しない場合は、【特別回線対応】で【PBX】を設定してください。詳しくは、ユーザーズガイド基本編の第1章「特別設定について」－「特別回線対応を設定する」をご覧ください。

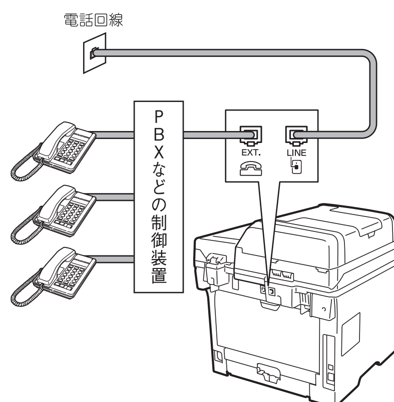
補足

●ビジネスホンとは
電話回線を3本以上収容可能で、その回線を多くの電話機で共有でき、内線通話などもできる簡易交換機です。

●ホームテレホンとは
電話回線1、2本で複数の電話機を接続して、内線通話やドアホンも使用できる家庭用の簡易交換機です。

●本製品の外付け電話としてホームテレホン、ビジネスホンを接続する

本製品の外付電話端子に構内交換機（PBX）などの制御装置を接続してください。

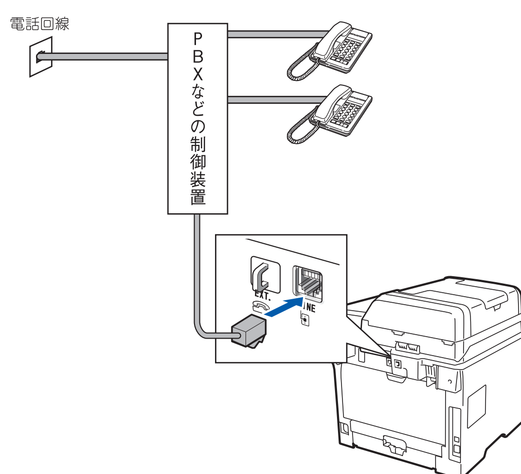


●本製品を構内交換機（PBX）の内線電話として使用する

構内交換機またはビジネスホンの内線に本製品を接続する場合、構内交換機またはビジネスホン主装置の設定をアナログ2芯用に変更してください。設定変更を行わないと、本製品をお使いいただくことはできません。詳しくは、配線工事を行った販売店にご相談ください。

注意

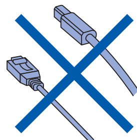
【特別回線対応】で【PBX】を設定してください。詳しくは、ユーザーズガイド基本編の第1章「特別設定について」－「特別回線対応を設定する」をご覧ください。



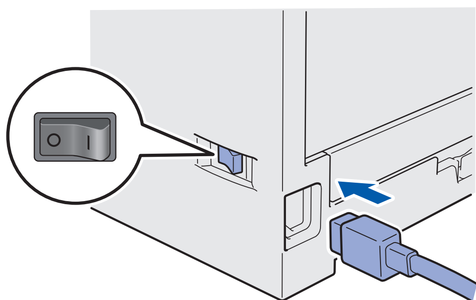
6 電源コードを接続する

注意

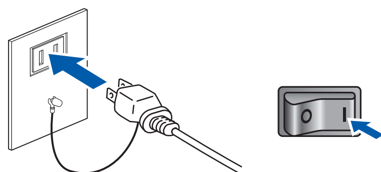
この時点では、まだUSBケーブルまたはLANケーブルを接続しないでください。



1 **電源スイッチがOFFになっていることを確認し、電源コードを本製品に接続する**



2 **電源プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチをONにする**



- 回線種別の自動設定が始まります。
- 自動設定が終わると、設定された回線種別が２秒間液晶ディスプレイに表示されます。

ﾀﾞｲﾔﾙ 20PPSです
画質:標準

警告

- 感電や火災防止のため、電源コード（日本国内でのみ使用可）は、必ず付属のものを使用してください。
- 感電防止のため必ず保護接地を行ってください。電源コンセントの保護接地端子にアース線を確実に接続してください。

注意

■右記のメッセージが表示されたときは、電話機コードが正しく接続されていません。電話機コードを正しく接続してください。

電話機ｺｰﾄﾞを
接続してください

正しく接続しないまま5分以上放置すると、回線種別はプッシュ回線に設定されます。
電話機コード接続しない場合は 停止/終了 を押してください。

■自動で回線種別が設定できなかったときは、2秒間右記のメッセージが表示されます。手動で回線種別を設定してください。詳しくは、ユーザーズガイド基本編の第1章「手動で回線別を設定する」を参照してください。

設定できませんでした

■構内交換機（PBX）、ホームテレホン、ビジネスホンに接続している場合、回線種別の自動設定ができないことがあります。自動で回線種別の設定ができなかったときは、手動で回線種別を設定してください。

■ダイヤル回線10PPSを使用しているときは、必ず手動で回線種別を設定してください。

補足

本製品を、電話回線に接続せずに使用する（コピー、プリンタ、スキャナなどとして使用する）ときは、手動で回線種別を設定します。詳しくは、ユーザーズガイド基本編の第１章「手動で回線別を設定する」を参照してください。どの回線種別を設定しても構いません。

7 日付と時刻をセットする（時計セット）

日付と時刻をセットします。ファクス送信したときに、ここでセットした日付と時刻が相手側の記録紙に印刷されます。

1 メニュー 0 2 ABC を押す

```
初期設定
2.時計セット
```

2 年号（西暦の下２桁）を入力して OK を押す

例：2009年の場合は「09」

```
時計セット
年:2009
```

3 月を2桁で入力して OK を押す

例：8月の場合は「08」

```
時計セット
月:08
```

4 日付を2桁で入力して OK を押す

例：21日の場合は「21」

```
時計セット
日付:21
```

5 時刻（24時間制）を入力して OK を押す

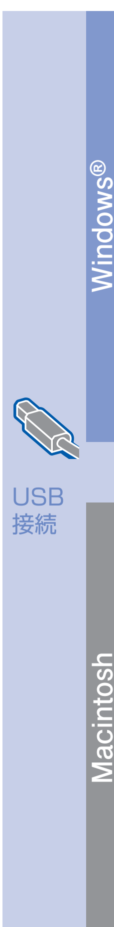
例：午後3時25分の場合は「1525」

```
時計セット
時刻:15:25
```

6 停止/終了 **を押す**

補足

入力を間違えたときは、◀ ▶を使って修正する文字にカーソルを移動し、正しい文字を入力し直してください。



8 名前とファクス番号を登録する（発信元登録）

ファクス送信したときに、ここでセットした名前とファクス番号が相手側の記録紙に印刷されます。

1 メニュー 0 3 DEF **を押す**

初期設定
3. 発信元登録

2 **ファクス番号を入力して OK を押す**

- 20桁まで登録できます。
- カッコ「()」、ハイフン「-」は登録できません。

発信元登録
ﾌｧｸｽ:03XXXXXXXX

3 **電話番号を入力して OK を押す**

- 20桁まで登録できます。
- カッコ「()」、ハイフン「-」は登録できません。

発信元登録
電話:03XXXXXXXX

補足

電話とファクスを同一回線（1 番号）で使用している場合は、ファクス番号と電話番号が同じ番号になりますのでファクス番号を入力してください。

4 **名前を入力して OK を押す**

20文字まで登録できます。

発信元登録
名前:ﾌﾞﾗｻﾞｰ ﾀﾛｳ

5 停止/終了 **を押す**

補足

●パソコンからリモートセットアップ機能を使用すると、名前を漢字で登録することもできます。詳しくは「画面で見るマニュアル（HTML形式）」を参照してください。

●入力を間違えたときは、◀ ▶を使って修正する文字にカーソルを移動し、クリア/バック を押して削除後、正しい文字を入力し直します。途中の文字を入力し忘れたときは、間違えた箇所までカーソルを移動して入力し直してください。
詳しくは、ユーザーズガイド基本編の第８章「文字を入力する」を参照してください。

入力できる文字

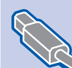
ボタンを押す回数に応じて入力できる文字が変わります。

ボタン	入力できる文字
ア 1	アイウエオァィゥェォ１
カ 2 ABC	カキクケコＡＢＣ２
サ 3 DEF	サシスセソＤＥＦ３
タ 4 GHI	タチツテトッ ＧＨＩ４
ナ 5 JKL	ナニヌネノＪＫＬ５
ハ 6 MNO	ハヒフヘホＭＮＯ６
マ 7 PQRS	マミムメモＰＱＲＳ７
ヤ 8 TUV	ヤユヨャュョ ＴＵＶ８
ラ 9 WXYZ	ラリルレロＷＸＹＺ９
ワ 0	ワヲンー０
゛゜ *	゛゜
記号 #	. @ - _ ' （スペース）: ; ＜ ＝ ＞ ? [ ] ^ ! " # $ % & ( ) * + , /€

文字の入力のしかた

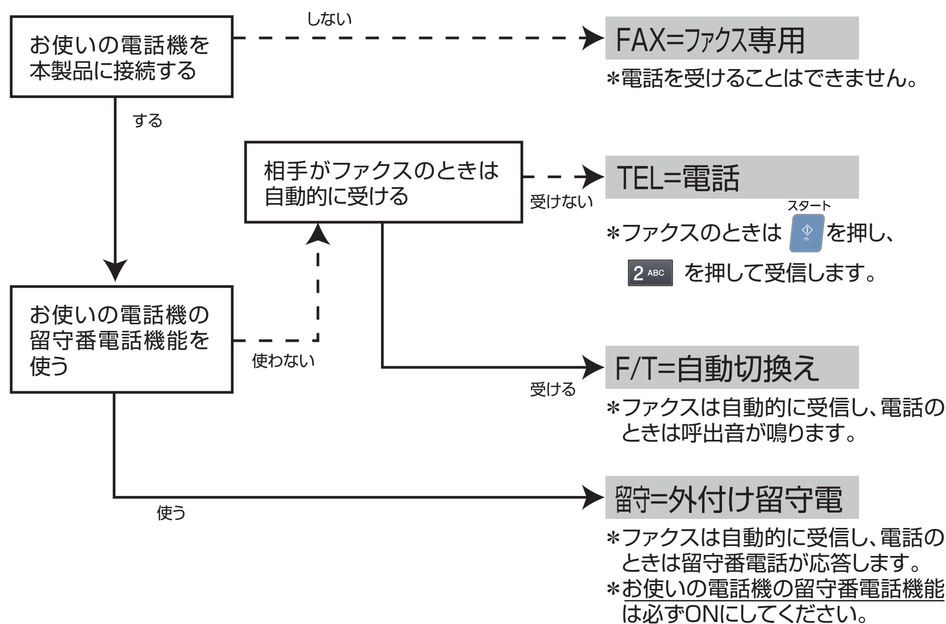
電話番号や文字は以下の操作で入力します。

したいこと	操作のしかた
文字を入れる	1（ア）～0（ワ）、＊（゛゜）、#（記号）を押す
文字を削除する	●（クリア/バック）を押すと、カーソルが文字列の最後の後方にあるときはカーソルの左の1文字を削除します。カーソルが文字列上にあるときは、カーソル位置の1文字を削除します。
文字を挿入する	◀を押してカーソルを戻し、文字を入力する
スペース（空白）を入れる	▶を押してカーソルを右に移動させる（文字のときは▶（2回押）でスペースを入れることができます）
記号を入力する	#（記号）を押して記号を選ぶ
同じボタンで続けて文字を入力する	▶を押してカーソルを1文字分移動させて入力する
入力した内容を確定させる	●（OK）を押す



9 受信モードを選ぶ

お使いの電話機を本製品に接続するかどうか、また電話機の留守番電話機能を使うかどうかによってファクスの受信のしかたを設定します。設定する受信モードは以下の図を見て選んでください。



詳しくは、ユーザーズガイド基本編の第1章「受信モードについて」を参照してください。

1 メニュー 0 1 を押す

受信ﾓｰﾄﾞ
FAX=ﾌｧｸｽ専用

2 ▲または▼で受信モードを選択する

「FAX=ﾌｧｸｽ専用」、「F/T=自動切換え」、「留守=外付け留守電」、「TEL=電話」の中から選択します。

3 OK を押す

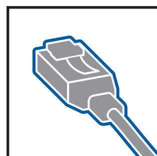
4 停止/終了 を押す

STEP2 パソコンに接続する(Windows®)

本製品をパソコン（Windows®）と接続してプリンタやスキャナとして使用する場合は、付属のドライバやソフトウェアをインストールする必要があります。
Macintoshをお使いの場合は、「STEP2 パソコンに接続する（Macintosh）」P.23を参照してください。

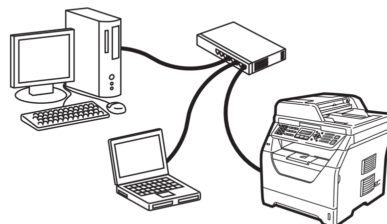
ネットワークに接続してご使用になるときは、かんたん設置ガイド ネットワーク編をご覧ください。

有線 LAN



LAN ケーブルで接続する

ルータ・ハブなどに本製品を有線でつなぎます。



1 インストールの前に

本製品をパソコンと接続してプリンタやスキャナとして使用する場合は、付属のドライバやソフトウェアをインストールする必要があります。
ソフトウェアをインストールする前に、CD-ROM に収録されている内容とパソコンの動作環境P.27を確認してください。

CD-ROMの内容



インストール

本製品をより便利にお使いいただくために以下のソフトウェアをインストールします。

- Presto! PageManager
  TWAIN/WIA準拠の画像管理用ソフトウェアです。
- ControlCenter3
  スキャナ機能や PC ファクス機能などさまざまな機能の入り口となるソフトウェアです。

ネットワークユーティリティ

各種ドライバ、ソフトウェアを追加インストールできます。

- BRAdmin Light
  ネットワークプリンタなどネットワーク上で使用する機器を管理できるソフトウェアです。
- オートマチックドライバインストーラ
  ネットワーク環境で本製品を使う場合に便利なツールです。

その他ソフトウェア

- Presto! Image Folio
  画像を編集できるソフトウェアです。

画面で見るマニュアル

以下のユーザーズガイドがパソコン上で閲覧できます。

- 画面で見るマニュアル（HTML形式）

サービスとサポート

- ブラザーホームページ
  ブラザーのホームページへリンクします。
- ブラザーソリューションセンター
  インターネット経由で、本製品の最新情報を閲覧したり、最新データのダウンロードが行えます。
- ブラザーダイレクトクラブ
  トナーカートリッジなどが購入できるオンラインショップへリンクします。
- 消耗品情報
  インターネット経由で消耗品の購入に関する情報を確認できます。

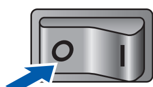
オンラインユーザー登録

オンラインでユーザー登録を行います。

2 ドライバとソフトウェアをインストールする（USB）

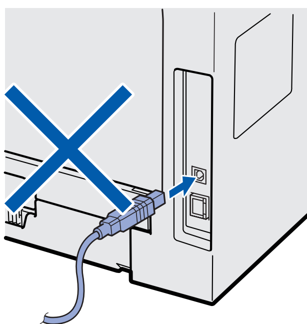
USB ケーブルを使って接続する場合のインストール方法を説明します。
インストールを開始する前に「STEP1 接続・設置する」が完了していることをご確認ください。
起動しているアプリケーションがある場合は、すべて終了してからインストールを始めてください。

1 本製品の電源スイッチをOFFにする



注意

USBケーブルが接続されている場合は、USBケーブルを本製品から外してください。

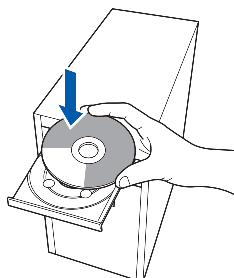


2 パソコンの電源を入れる

アドミニストレータ（Administrator）権限でログオンします。

3 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする

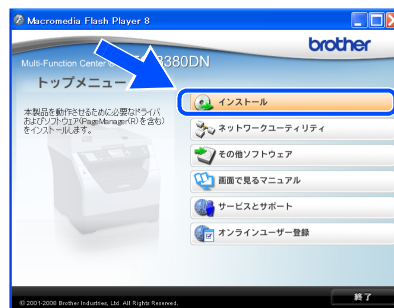
メイン画面が表示されます。



補足

- 画面が表示されないときは［マイコンピュータ］からCD-ROM ドライブをダブルクリックし、［Start.exe］をダブルクリックして画面を表示させてください。
- 最新のドライバはサポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードできます。(http://solutions.brother.co.jp/)
ただし、ダウンロードしたドライバには付属のCD-ROM内にあるソフトウェアは含まれません。ソフトウェアをご使用になるには付属のCD-ROMが必要です。

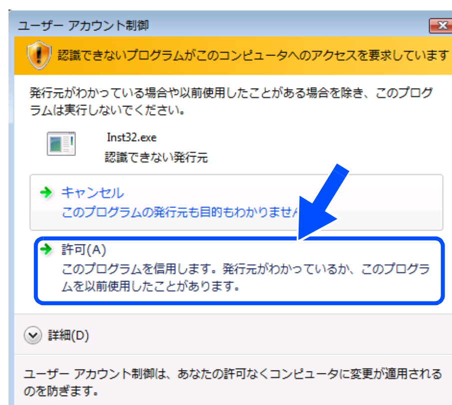
4 ［インストール］をクリックする



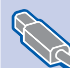
5 ［インストール］をクリックする



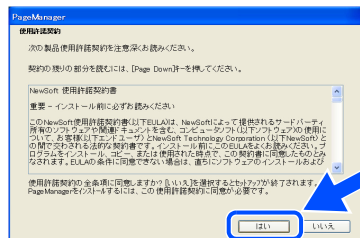
- ドライバとソフトウェアのインストールが始まります。
- Windows Vista®で「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたときは、［許可］を選択します。



次ページへ続く

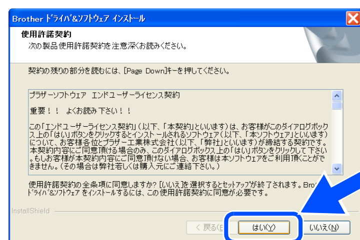


6　Presto!　PageManager の使用許諾契約の内容を確認して、［はい］をクリックする

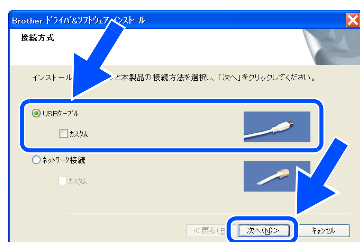


- 画像ビューワーソフト「Presto! PageManager」がインストールされます。
- Presto!　PageManager のインストールが終わると、続いてドライバとソフトウェアのインストールが始まります。

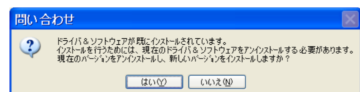
7　使用許諾契約の内容を確認し、［はい］をクリックする



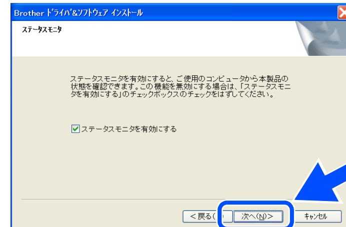
8　［USBケーブル］を選択し、［次へ］をクリックする



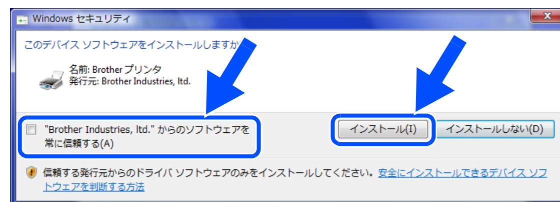
以下の画面が表示されたときは、［はい］をクリックして古いバージョンのドライバとソフトウェアをアンインストールしてください。



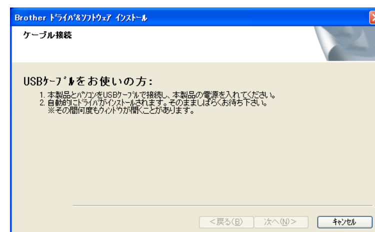
9　ステータスモニターを無効にする場合は、チェックを外し［次へ］をクリックする



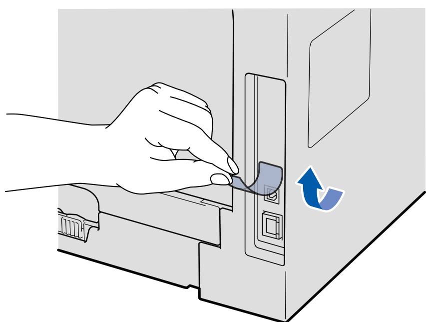
- ウインドウが何度も開いたり、消えたりする場合もありますが、そのまましばらくお待ちください。
- Windows Vista®で次の画面が表示されたときは、チェックボックスをクリックし、［インストール］を選択します。



10　ケーブル接続画面が表示される

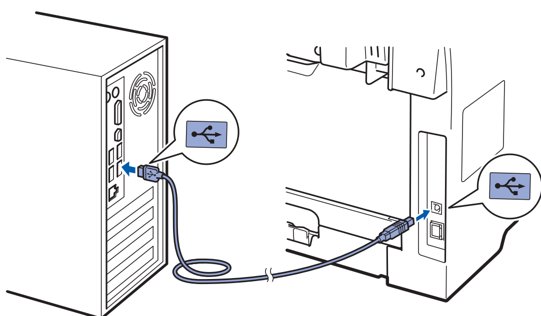


11 USB コネクタに貼ってあるシールをはがす



12 本製品とパソコンをUSBケーブルで接続する

- パソコンにUSBケーブルを接続します。
- 本製品にUSBケーブルを接続します。



補足

- USBケーブルコネクタ部分のラベルは、はがしてから接続してください。
- USBケーブルは、同梱されていません。
- USB ケーブルは、長さが 2.0m 以下のものをお使いください。
- キーボードの USB ポートおよび電源のない USB ハブには接続しないでください。

13 本製品の電源スイッチをONにする

- 電源スイッチを ON にすると、インストールが継続されます。
- インストール画面が表示されるまでに数秒かかります。



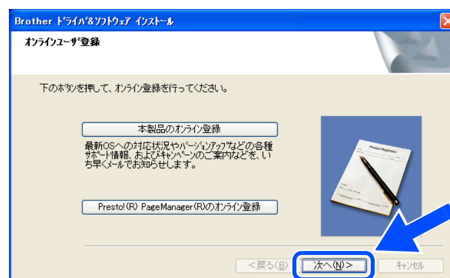
補足

自動的にインストールが再開されます。その間、ウィンドウが何度も開いたりする場合がありますが、そのまましばらくお待ちください。

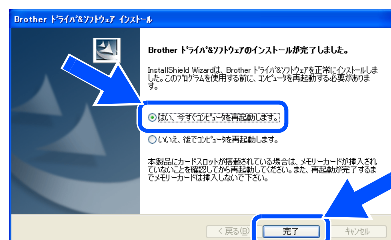
14 ユーザー登録をする

[本製品のオンライン登録] や [Presto! PageManagerのオンライン登録]をクリックして、ユーザー登録を行います。登録終了後や、後でユーザー登録をする場合は次の手順に進みます。

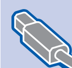
15 ユーザー登録が終わったら [次へ] をクリックする



16 [はい] を選択して [完了] をクリックする

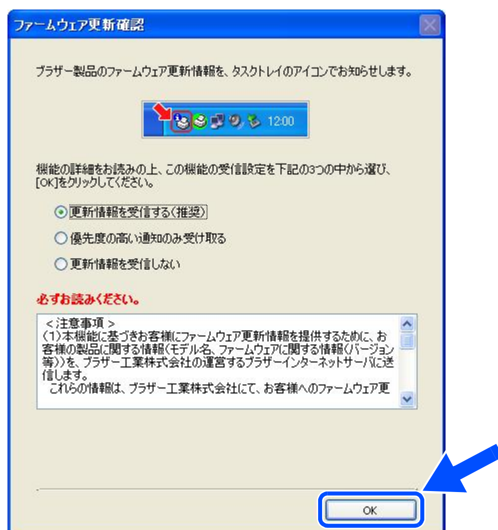


- パソコンが再起動しますので、引き続き次の手順へお進みください。



次ページへ続く

17 次の画面が表示されたときは、ファームウェア更新確認の受信設定をし［OK］をクリックする



OK! ［ドライバ＆ソフトウェア］のインストールが完了しました。

補足

「XML Paper Specification プリンタドライバ」のご案内

XML Paper Specification プリンタドライバは、XML Paper Specification 文書をプリントするのに適した Windows Vista®専用のプリンタドライバです。

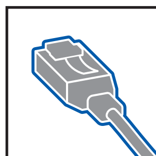
サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードできます。
（http://solutions.brother.co.jp/）

STEP2 パソコンに接続する(Macintosh)

本製品をパソコン（Macintosh）に接続してプリンタやスキャナとして使用する場合は、付属のドライバやソフトウェアをインストールする必要があります。
Windows®をお使いの場合は、「STEP2 パソコンに接続する(Windows®)」P.17を参照してください。

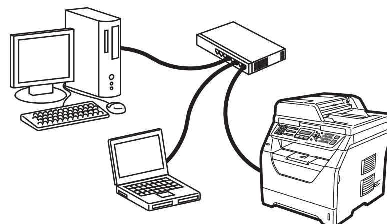
ネットワークに接続してご使用になるときは、かんたん設置ガイド ネットワーク編をご覧ください。

有線 LAN



LAN ケーブルで接続する

ルータ・ハブなどに本製品を有線でつなぎます。



1 インストールの前に

CD-ROMの内容



Start Here OSX
本製品のプリンタやスキャナ、PCファクス、リモートセットアップ機能を使用するために必要なドライバをインストールします。
Presto! PageManager
TWAIN準拠のスキャナソフトウェアをインストールします。
Utilities
各種ユーティリティが用意されています。
Documentation
以下のユーザーズガイドがMacintosh上で閲覧できます。 • 画面で見るマニュアル（HTML形式）
Brother Solutions Center
インターネット経由で、本製品の最新情報を閲覧したり、最新データのダウンロードが行えます。
On-Line Registration
オンラインでユーザー登録を行います。

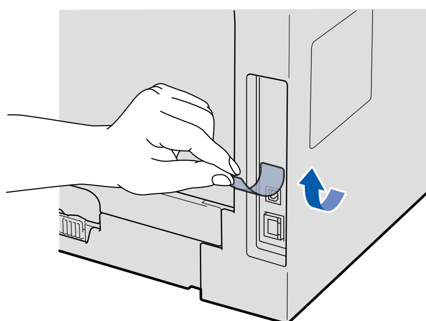
1 ドライバとソフトウェアをインストールする（USB）

USB ケーブルを使って接続する場合のインストール方法を説明します。
インストールを開始する前に「STEP1 接続・設置する」が完了していることをご確認ください。

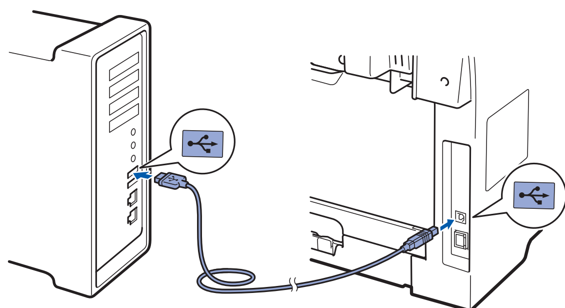
1 本製品の電源スイッチをONにする。



2 USB コネクタに貼ってあるシールをはがす



3 本製品とMacintoshをUSBケーブルで接続する

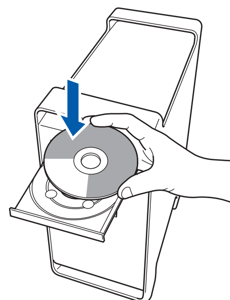


補足

- USBケーブルは、同梱されていません。
- USB ケーブルは、長さが 2.0m 以下のものをお使いください。
- キーボードの USB ポートおよび電源のない USB ハブには接続しないでください。

4 Macintoshの電源を入れる

5 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする

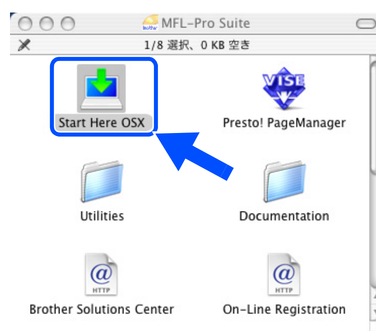


補足

最新のドライバはサポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードできます。（http://solutions.brother.co.jp/）
ただし、ダウンロードしたドライバには付属のCD-ROM内にあるソフトウェアは含まれません。ソフトウェアをご使用になるには付属のCD-ROMが必要です。

6 ［Start Here OSX］をダブルクリックする

画面の指示に従って、インストールを進めてください。



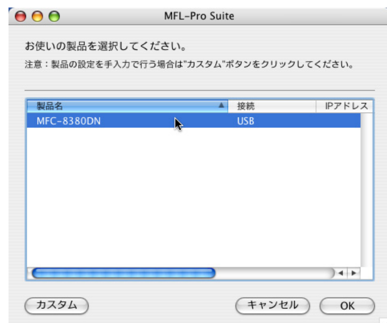
インストールが終わると、Macintosh の再起動を指示する画面が表示されます。
［再起動］をクリックしてください。

7 ソフトウェアが本製品を自動的に検索する



☞次ページへ続く

8 本製品を選んで［OK］をクリックする



9 確認画面が表示されたら［OK］をクリックする



10 ［Presto! PageManager］をダブルクリックする

画面の指示に従って、インストールを進めてください。



Presto! PageManagerがインストールされます。

補足

Presto! PageManagerをインストールすると、ControlCenter2にOCR機能が追加されます。

OK! **インストールが完了しました。**

動作環境

本製品とパソコンを接続してお使いいただくには、以下のパソコン環境が必要になります。またサポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））で最新のドライバ対応状況についてご確認ください。

Windows®

OS/CPU/メモリー

- Windows® 2000 Professional
  32ビット（x86）プロセッサ
  64MB（推奨256MB）以上のシステムメモリ
- Windows® XP Home
  32ビット（x86）プロセッサ
  128MB（推奨256MB）以上のシステムメモリ
- Windows® XP Professional
  32ビット（x86）プロセッサ
  128MB（推奨256MB）以上のシステムメモリ
- Windows® XP Professional x64 Edition
  64ビット（x64）プロセッサ
  256MB（推奨512MB）以上のシステムメモリ
- Windows Server® 2003
  32ビット（x86）プロセッサ
  256MB（推奨512MB）以上のシステムメモリ
- Windows Server® 2003 x64 Edition
  64ビット（x64）プロセッサ
  256MB（推奨512MB）以上のシステムメモリ
- Windows Vista®
  32ビット（x86）または64ビット（x64）プロセッサ
  512MB（推奨1GB）以上のシステムメモリ
- Windows Server® 2008
  32ビット（x86）または64ビット（x64）プロセッサ
  512MB（推奨2GB）以上のシステムメモリ

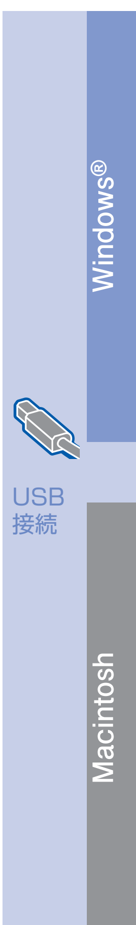
補足
上記プロセッサの他、Intel®社互換プロセッサも使用できます。

ディスク容量

- Windows® 2000 Professional、Windows® XP Home/XP Professional/XP Professional x64 Edition
  460MB以上の空き容量
- Windows Server® 2003/2003 x64 Edition/2008
  50MB以上の空き容量
- Windows Vista®
  1GB以上の空き容量

CD-ROMドライブ

必須



インターフェース

Hi-Speed USB 2.0（USB1.1対応のPCでもご使用いただけます。）
有線LAN：10BASE-T/100BASE-TX

補足

●USBケーブルは市販のものをお使いください。
●お使いの機能により、必要な動作環境は異なります。CPUのスペックやメモリーの容量に余裕があると、動作が安定します。
●インストール時には、アドミニストレータ（Administrator）権限でログインする必要があります。

Macintosh

本製品とMacintoshを接続してお使いいただくには、以下の環境が必要になります。
またサポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））で最新のドライバ対応状況についてご確認ください。

OS/CPU/メモリー

- Mac OS X 10.3.9～10.4.3
  Power PC G4/G5、Power PC G3 350MHz 以上
  128MB（推奨256MB）以上
- Mac OS X 10.4.4以降
  Power PC G4/G5、Intel® Core™ Processor
  512MB（推奨1GB）以上

ディスク容量

480MBの空き容量

CD-ROMドライブ

必須

インターフェース

Hi-Speed USB 2.0（USB1.1対応のコンピュータでもご使用いただけます。）
有線LAN：10BASE-T/100BASE-TX

補足

●USBケーブルは市販のものをお使いください。
●お使いの機能により、必要な動作環境は異なります。CPUのスペックやメモリーの容量に余裕があると、動作が安定します。
●Mac OS X 10.3.8までをお使いの場合は、Mac OS X 10.3.9以降へのアップグレードが必要となります。

この続きは…

ここまでの操作で、本製品を使えるようにするための準備が完了しました。本製品をお使いいただくときは、ユーザーズガイドと「画面で見るマニュアル（HTML形式）」をよくお読みいただき、正しくお使いください。

「画面で見るマニュアル」を閲覧するには

「画面で見るマニュアル（HTML形式）」を閲覧したいときは、以下の手順で操作します。

Windows®の場合

パソコンにドライバをインストールすると、「画面で見るマニュアル（HTML形式）」が自動的にインストールされ、デスクトップにショートカット が作成されます。

閲覧方法

（1）画面左下の［スタート］メニューから、［プログラム（すべてのプログラム）］－［Brother］を選択する

（2）本製品の機種名「MFC-XXXX」を選択する

（3）「画面で見るマニュアル（HTML形式）」を選択して、クリックする

補足

付属のCD-ROMからも［画面で見るマニュアル］を閲覧することができます。メイン画面が表示されたら、［画面で見るマニュアル］－［画面で見るマニュアル（HTML形式）］を選んでください。

Macintoshの場合

閲覧方法

（1）付属のCD-ROMをMacintoshのCD-ROMドライブにセットする

（2）「Documentation」をダブルクリックする

（3）「top.html」をダブルクリックする

「画面で見るマニュアル」が表示されます。

オプション製品のご案内

本製品に装着できるオプションです。オプションを装着することで本製品の機能をさらに拡張してお使いいただけます。

増設記録紙トレイ（トレイ2）：LT-5300	メモリー：144ピンタイプSO-DIMM
※最大250枚の普通紙をセットできます。記録紙トレイ（トレイ1）、多目的トレイ（MPトレイ）と合わせて最大550枚の給紙ができます。	（市販品） ※市販のメモリ（SO-DIMM144ピン）を取り付けて増設することができます。

商標について

本文中では、OS名称を略記しています。
Windows® 2000 Professionalの正式名称は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemです。
Windows® XP の正式名称は、Microsoft® Windows® XP Professional operating system および Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system です。
Windows® XP Professional x64の正式名称は、Microsoft® Windows® XP Professional x64 Edition operating systemです。
Windows Server® 2003の正式名称は、Microsoft® Windows Server® 2003 operating systemです。
Windows Vista® の正式名称は、Microsoft® Windows Vista® operating systemです。
Microsoft、Windows、Windows Server、Internet Explorer、Outlookは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国、日本および/またはその他の国における登録商標または商標です。
Apple、Macintosh、Mac OS、Safariは、Apple Inc.の登録商標です。
Intel、Intel Coreは、Intel Corporationの登録商標です。
本書に記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

本製品は日本国内のみでのご使用となりますので、海外でのご使用はお止めください。海外での各国の通信規格に反する場合や、海外で使用されている電源が本製品に適切ではない恐れがあります。海外で本製品をご使用になりトラブルが発生した場合、当社は一切の責任を負いかねます。また、保証の対象とはなりませんのでご注意ください。

These machines are made for use in Japan only. We can not recommend using them overseas because it may violate the Telecommunications Regulations of that country and the power requirements of your machine may not be compatible with the power available in foreign countries. Using Japan models overseas is at your own risk and will void your warranty.

●お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保管してください。
●本製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後5年です。

消耗品について

本製品で必要となる消耗品は以下のとおりです。

トナーカートリッジ：型番 TN-43J／TN-48J	ドラムユニット：型番 DR-41J
印刷可能枚数 TN-43J：約3,000枚※1,2 TN-48J：約8,000枚※1,2	印刷可能枚数 約25,000枚※3,4

本製品に付属のトナーカートリッジは約2,000枚※1印刷ができます。

※1 印刷可能枚数はJIS X 6931（ISO/IEC 19752）*規格に基づく公表値を満たしています。
 * JIS X 6931（ISO/IEC 19752）とはモノクロ電子写真方式プリンタ用トナーカートリッジの印刷枚数を測定するための試験方法を定めた規格です。

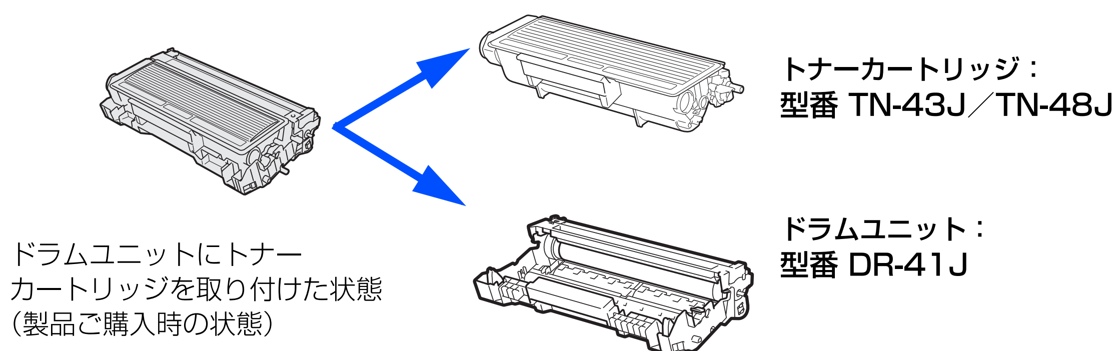
※2 印刷の内容によって実際の印刷枚数と異なります。

※3 A4を1回に1ページ印刷した場合

※4 使用環境や記録紙の種類、連続印刷枚数などによって異なります。

トナーカートリッジとドラムユニットの交換について

本製品は、ドラムユニットにトナーカートリッジを取り付けて使用する仕組みになっています。
トナーの残量がなくなったり、ドラムユニットが寿命がきたりしたときは、必ず分離して、使用できなくなった部品のみを交換してください。



● 交換のしかたについては、ユーザーズガイド基本編の第7章「トナーカートリッジとドラムユニットについて」を参照してください。

トナーカートリッジとドラムユニットの購入方法

お近くの販売量販店で取り扱っておりますが、インターネット、電話、ファクスによるご注文も承っております。詳しくはユーザーズガイド基本編ご注文シートページを参照してください。

消耗品のご注文は携帯電話からもできます。
http://direct.brother.co.jp/